

## お知らせページ

### 老問研全国研究交流集会

テーマ：「介護保険 10 年の検証とあるべき高齢者福祉」  
日時：1 月 29 日（土）  
会場：大正大学 7 号館 7 階 774 教室  
参加費：3,500 円（夕食弁当代・資料代）  
申し込み：白十字ホーム・西岡  
TEL：042-392-1375 MAIL：o.nishioka@gmail.com

### 第 27 回認知症ケアワーキング

日時：1 月 30 日（日）14:00～  
会場：東京ボランティアセンター（JR 飯田橋下車 2 分）  
内容  
「ホームヘルパーのケアから見た認知症の早期発見」  
申し込み：事務局藤原宛（FAX：3787-3117）



### 介護保険法改定への提言 (21・老福連との合同開催) ～特別講演とパネルディスカッション～

日時：2 月 13 日（日）13 時～17 時（12 時 30 分受付開始）  
会場：大正大学 1 号館本部棟 2 階大会議室  
資料代：1,000 円  
特別講演：伊藤周平氏（鹿児島大学）  
パネルディスカッション  
司会：廣末利弥氏（21・老福連代表）  
報告：西岡 修氏（施設・老問研）  
勝田登志子氏（家族・地域）  
片倉博美氏（在宅医療・看護）

### 平和大好き

日時：2 月 26 日（土）13:30～  
会場：品川区中小企業センター  
参加費：800 円  
申し込み先  
小松原（090-8847-1646）



### 共に介護を学びあい 励まし合いネットワーク

〒142-0063  
東京都品川区荏原 1-24-23 角田アパート 1F  
Tel・Fax：03-3787-3117  
編集責任者：藤原るか



# CLA だより 第 16 号

11/1/27

発行：共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク



「CLA（クラ）」はラテン語で憂い、辛さ、気遣い、共感などと云った意味で、英語のキューアーやケアの語源です。

# 迎春



「梅と富士」 撮影：北出千万城

# 世界のヘルパーさんと出会う旅 イギリス・オランダ ③ 2010年7月7日(水)～15日(木)



第5回国際ケアラーズ会議「ケアの領域における新開拓：2010年そしてさらにその先へ」と題して、世界20カ国以上から研究者、行政関係者、運営者そして直接ケアを行っている当事者たちがイギリス、リーズの地に集まった。7月8日(木)権威ある学会としてのウェルカムメッセージは、リーズ市長が行った。他、イギリス王室アン王女も出席されていた。翌9日(金)主催者や各界関係者の挨拶に続いて、以下のテーマ別全体会議がスタートした。

- A. 最新テクノロジーと住環境
- B. ケアと労働(雇用)関係について
- C. 基金、財政と法的サポートについて
- D. 健康、ソーシャルケアとウェル-ビーイングについて

私たちは9日(金)にリーズに入り、会場の王立アーマー博物館で会員登録を行った。博物館の敷地は広く、4つの棟があり、分科会やワークショップでは、会場が分散する。メイン会場での催し物は大丈夫だろうが、会場が違っていると、行きつくまでに時間切れにならないか、ちょっと心配になった。

午後からはリーズでケアに当たっている人たちとの懇談会(内容は前回ルカさんからあった通り)があったので、リーズの市庁舎へ移動した。

さて、翌日の10日(土)は、朝からワークショップが行われた。大枠のテーマは昨日のA～Dの内容だ。参加各位はワークショップのアジェンダ(会議用議事日程)とくじ引きで、どれに参加するかを決め、当日ボードに自分の名前を書き込んで参加を確認するという簡単な方法だ。櫻井、藤原、森の3女史と私はCのカテゴリーから①「ケアギヴァーズの人権」と②「決定、実践。-話し合おう!さまざまなことを決定実行するのに認知症患者とその家族や多くの人たちを巻き込みながら-スコットランドでの実施報告」に参加。渡辺、濱島各氏はカテゴリーDに登録していた。森山はBに登録した。

①の会場はメインの講堂で行われた。発表者2名のうち、時間の都合で1名分しか聞けなかった。

②の会場への移動中、案の定、昨日の心配が的中。会場へ行き着くまでが迷路だった。会場には、空調の状態が悪いのか途切れ途切りにゴーとなる音が耳障りだ。発表者の声が小さい。しかもスコットランド訛りがキツイし、早口だ。まさに通訳泣かせ。遅れたせいで、資料がない。気分は絶望的だった。発表者が変わった時に、大きな声でゆっくり、はっきり話して欲しいという声が飛んだ。英語を母国語にしている人ばかりではないのだ。

“誰がケアラー(ヘルパー)さんなの?”という話題を一つご報告する。ここで言うケアラー(病気、その他の障害の誰かを援助してくれる人)とは、イギリスの法に照らして基準の資格を持つ人達を指し、家族や一時的なボランティアの援助者ではない。日頃、中心となってケアにあたる人たち(主に家族)の精神的、肉体的、物理的サポートに有資格者のケアラーが如何に関わるか、また、有料のさまざまなケアを提供しているサービス会

## 介護保険法などの一部を改正する法律案(仮称)のポイント

医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく、有機的かつ一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の実現(厚生労働省の主要)

### 1 医療と介護の連携強化

ア 医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが連携した要介護者等への包括的な支援(地域包括ケア)の推進

イ 地域包括ケア実現のために日常生活圏域ごとに地域ニーズを的確に把握した事業計画を策定

ウ 単身・重度の要介護者に対応できるよう、24時間対応の定額通夜・随時対応サービスや複合サービスを創設

→要介護者対象。単身・重度者でも在宅可能に。サービス事業所・居宅介護事業所共同マネジメントで看護・介護職員が30分以内で定額・随時訪問。包括定額式。末年度100箇所(1月下旬、在り方検討会最終報告予定)

エ 保険者制度による予防給付と生活支援サービスの統合化

→療養病床・介護療養病棟・見守り・緊急サービス等(地域医療事業を参照)

オ 介護療養病床の廃止期限を若干(3年間若干、新規増設は行わない)

### 2 高齢者の住まいの整備や施設サービスの充実

### 3 認知症対策

ア 市町村後見人の活用など、高齢者の権利擁護の推進

→介護・住宅・医療など後見業務に関連する業界を連携した元気シニア、介護や子育ての経験を持つ主婦を主な対象に、市町村後見人養成。後らの能力を社会化、福祉活動等に際する共助の仕組みを作る。

イ 市町村における認知症対策の計画的な推進

→ケアパス(認知症の状況経過等に応じた適切なサービスの選択・提供に資する連絡)の作成・推進

### 4 保険者が果たすべき役割の強化

### 5 介護人材の確保とサービスの質の向上

ア 介護福祉士等の介護職員による日常の「医療的ケア」の実施

→介護福祉士養成カリキュラムに追加

→介護福祉士資格者には追加研修

→実施施設、事業所は都道府県に登録

イ 労働法違反等の懲罰、雇用管理の取り巻きの公表

ウ 情報公表制度の見直し

### 6 介護保険料の急激な上昇の緩和

上の文章は昨年11\*25の厚労省発表の法案の柱です。太字はヘルパーに直接関わる項目です。詳細の学習は2・11や2・13(掲載チラシ参照)実施の集会に参加して学びましょう。南部地域では3月25日(金)18:30～南部労政会館で学習会をおこないます。医療行為が専門の篠崎良勝先生(八戸大学)が上京を予定しています。

# 共同集会のご案内

## 介護保険10年 どうなる どうする

～ 地域包括ケアシステムのねらいと2012年改定 ～

昨年11月末、社会福祉協議会介護保険部会から介護保険制度見直しに関する、意見という形で報告が行われた。今年の通常国会で介護保険法改正案が可決成立すれば、適用に際しての留意基準等が今年度中には国会で決定される。

こうしたスケジュールを踏まえ、全国老人福祉問題研究会(以下、研究会)と21世紀-老人福祉の向上をめざす施設福祉会(以下、21-老福会)が共同し、福祉施設や介護保険事業等の関係者、関係機関職員関係者等の実務者を対象として、主として介護現場に重点を置いた集会を企画し、福祉や介護のあり方について議論を共有し、取り組まれる制度のあり方や具体的な提言・提議に取組んでいきたい。4月23日(土)には関西において第2回目の集会開催を予定。

- 特別講演 ● 地域包括ケアの動向と真のねらい  
鹿児島大学 伊藤 周平 氏
- 報告 ● 特養の立場から 西岡 修 氏  
特別養護老人ホーム、白十字ホーム、施設長
- 報告 ● 認知症ケアの立場から 勝田 登志子 氏  
認知症の人と家族の会 副代表理事
- 報告 ● 地域ケアの立場から 片倉 博英 氏  
社会福祉法人うぶね 専務理事
- 報告 ● 司会兼コーディネーター 廣末 利弥  
社会福祉法人七野会 理事長 21-老福会 代表幹事

● 日時 ● 2月13日(日) 受付 12時30分  
開始 13時00分 ~ 17時30分

● 会場 ● 大正大学 1号館 2階 大会議室  
東京都豊島区西巣鴨3-20-1 地下鉄 都営地下鉄三田線  
西巣鴨駅 徒歩2分

● 参加費 ● 1000 円 資料代

主催 全国老人福祉問題研究会 事務局 東京都東村山市諏訪町2-26-1  
白十字ホーム内 <電話>042-392-8982

後援 全日本民主医療機関連合会、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、  
東京社会保障推進協議会、全国福祉保育労働組合



社とどう関わるか(コーディネートするか)、薬の管理、行政機関への報告について話し合われていた。背景が異なるので、日本にそのまま当てはまらないが、認知症やパーキンソン病を始めとする障害を持った人が地域で自立した生活をサポートするための連携策について、中心となって介護にあたる人たちのケアについての重要性和具体策が話題にされていた。日本でも、その必要性は現場で介護に直面している人々には十分認識されているが、目に見える方策が示されていない。介護される人も介護する人も地域に暮らす人として幸せであるために、介護者への労り対策が欲しいと思う。

ここで、ひとつ、読者の皆様にコトバのお土産。日本では、「ヘルパー、ヘルパーさん」という呼び方が定着しているが、実はこれ英語ではない。所謂、和製英語である。英語圏でヘルパーと言っても「ん？」という顔をされてしまう。英語では日本で言うヘルパーさんや介護職員を「ケアラー (carers) / ケアギヴァーズ (caregivers)」と言う。「ケア→お世話する人、お世話することを分け与える人」という感じ。

イギリスでの報告は以上。

最後にオランダでの介護施設訪問の際に受けた印象的な一コマを御紹介する。介護に当たる人々が相対的に若い。マネージメントをする方から介護に当たる人達までが年齢的に若いのだ。それは、オランダの介護スタッフ養成のシステムが充実していることにあるようだ。介

護スタッフにレベル1から5までのランキングがある。それぞれのレベルによってできる仕事の技量範疇が違う。自分の生活スタイルや意欲に合わせて試験を受けて昇進できるシステムだ。レベル1は家事援助が主な仕事だが、レベル5は看護師と同等な上に勉強の仕方によっては専門的領域を持つことも可能だ。私たちはそのシステムを活用してイキイキとケアに当たる介護職員に会った。

また、まだ27歳だという業務管理を行うマネジメントスタッフは、「大学で勉強している時には、お年寄り相手の仕事は退屈かもしれないと予想していた。でも、現実に仕事を始めて、おじいちゃんやおばあちゃんたちとお話してみると、退屈なんて、とんでもなかった。その人々の人生、歴史、哲学と毎日触れるのよ。飽きることがない。お世話しているのか、されているのか。良い仕事をしていると思う」と笑顔で語った。介護職は確かに人気抜群といった仕事ではない。しかし、年齢を重ねて身体が弱った人に寄り添うだけで、こちらにも大きな深い喜びを与えてくれる職業だと言いきったオランダの若い介護職員たちの笑顔が忘れられない。

【報告：渡邊まどか】

(次回17号から、オランダの報告をします。編集部)

# ヘルパー忘年会だよ！！

## ♪じゅん・じゅんコンサート♪

### 2010年12月11日(土)

私たちのヘルパー班会（ヘルパーステーションすずらん）では、忘年会に「じゅんじゅんコンサート」に行くことが決まり、当日は仕事の都合で少し遅れての参加でしたが、すでに心とむ。

朝鮮琴の音色が会場を包んでいました。それから、それぞれ個性的で迫力のある3人の違った「じゅんさん」と会場との対話をしながらの熱唱が続きました。中でも『ホームヘルパー・シャララ』（みながわ じゅんさん作詞・作曲）うん、うん、う〜んと唸りながら聞き入りました。

♪ぐとこらえて〜  
 ♪ガハハと笑って〜  
 ♪サラッと帰る〜 ホームヘルパー・シャララ〜

といつの間にか、大きな声で一緒に歌っていました。いろいろな方の所に伺い、いろいろな苦労があるけれど、毎日が新鮮で素敵なホームヘルパーの仕事を歌ってくれて、とても嬉しく元気を頂きました。

コンサートのあと、会場みんなが一緒によく飲み、よく話し、あつという間に時が過ぎた忘年会でした。

今年は、介護保険2012年の改訂に向けて介護保険の有り方が問われる年です。日本の介護をどうしてゆくのか？ここだけは「♪ぐとこらえず」（笑い）大きな声で主張、行動してゆきたいと思います。

じゅん・じゅんコンサートの皆さん、ステキなコンサートをありがとう！！

（すずらん ゆたか 田口 敏江）



『ホームヘルパーシャララ』 作詞／作曲 源川 準

だまだ力が足りません  
 だけど頼りにされてます  
 お客さんからしたら  
 ベテランも初心者も  
 みんな同じプロ  
 買い物したり食事を作ったり  
 世間話も仕事のうち  
 でも誇りを持って  
 この仕事に就いた  
 この仕事が好き  
 グッとこらえて  
 ガハッと笑って  
 サラッと帰ります  
 僕はヘルパー  
 君も大事なヘルパー  
 夕陽の中で  
 ホームヘルパーシャララ

無理難題言われた  
 その時は  
 得意の決めセリフ  
 「事務所に帰って相談します」  
 いろんな方がいらっしやいます  
 いちいち落ち込むヒマもない  
 お風呂に入れたり  
 爪を切ったり  
 食事介助やおむつ換え  
 悩むときもある  
 でもこの仕事をする  
 待っているひとがいる  
 切ない夜も淋しい朝も  
 あなたがいるだけで  
 そんな風に言われたいよヘルパー  
 星空のシャワー  
 ホームヘルパーシャララ

連絡帳に記入を欠かさぬ  
 笑顔はいつでも二重丸  
 報・連・相（ハウレンソウ）が  
 三種の神器  
 ひとりにはしないから  
 グッとこらえて  
 ガハッと笑って  
 サラッと帰ります  
 僕はヘルパー  
 君も一人のヘルパー  
 朝日を飲み込め  
 ホームヘルパーシャララ

\*注・“報・連・相”とは『報告・連絡・相談』の略

# 異議あり！介護保険見直し政府案 利用者・現場の声を届けよう



ケアマネージャー、ヘルパー、利用者、家族、介護の現場で働く人、すべての介護関係者のみなさん。私たちは介護現場の声、要望を国に伝えるとともに、何よりも高齢者が安心して利用できる介護保険制度を求めています。シンポジウムではみなさんの現場の声、意見を交換し、学習しましょう。ぜひご参加ください。

# 2・11介護シンポジウム

2011年2月11日(金・祝)

開場・受付11時30分・12時開会～16時終了予定

ニッショーホール(日本消防会館)  
 東京都虎ノ門2-9-16 (Tel.03-3503-1486・地図参照)

参加費 1,000円(会場・資料代)

### スケジュール

- ◆12時開会
- ◆基調報告(コーディネーター)  
 芝田 英樹氏(立教大学教授)
- ◆意見発表(シンポジスト)  
 藤田登志子氏  
 (認知症の人と家族の会本部副代表理事)  
 小川 崇二氏(立命館大学教授)  
 林 朝剛氏(全日本介護連盟事務局次長)
- 施設代表に懇話中
- ◆付 録(フロッパー)
- ◆おとめ
- ◆16時閉会



※スケジュールの関係上、座席を満員までご参加ください。

異議あり！介護保険見直し政府案 利用者・現場の声を届けよう2・11介護シンポジウム(仮)実行委員会  
 東京都文京区湯島2-4-4(全労連内) Tel. 03-5842-5611